

第4期石狩市総合計画（戦略計画）後期見直し（案）に対し 寄せられた意見と検討結果について

【パブリックコメント実施期間】 平成23年11月1日（火）から平成23年11月30日（水）まで

【担 当】 企画経済部企画課

【意見提出者数】 61人

【意見件数】 25件

【意見の対応】

採 用：意見に基づき計画（案）を修正するもの	8件
一部採用：意見に基づき計画（案）の一部を修正するもの	2件
不採用：意見を計画（案）に反映しないもの	11件
その他：ご質問、ご意見として何うもの	3件
記載済：既に計画（案）に盛り込まれているもの	1件

【意見の検討経過】 12月1日～12月5日：企画経済部企画課において意見の検討及び検討結果（案）の作成

12月6日～12月7日：関係部局に意見聴取

12月27日：関係部局に合議のうえ、市長決裁にて決定

1. 計画本文に関する意見（第4期石狩市総合計画【後期戦略計画】平成23年度一部見直し）

意見の箇所等	No.	意見等の要旨	検討結果	検討内容
全体に関すること	1	今回の後期見直しを、総合計画の中でのPDCAサイクルのCに該当するものとして捉え、積極的に活用する姿勢が必要と考える。	【その他】	今回の見直しは、前期5年間の成果と課題を改めて洗い出し、社会・経済情勢の変化も勘案した中で整理するものであり、まさしく計画中間年度におけるC（チェック）に該当するものと認識しています。
(成果指標)	2	見直しにより成果指標が変更になっているものについて、指標を変更した理由が必要ではないか。 また、当初計画にあった成果指標の達成度合いの記載も必要ではないか。	【採用】	成果指標については、施策の効果を客観的に示し、かつ市民の視点でより分かり易いものとなっているか、目標値は適切か、また、実績値の把握に際しての合理性や諸計画との整合性を総合的に判断し見直しを行っています。 これらの見直し内容については、成果指標に対する達成度合い（実績値）と併せてホームページで公開します。
	3	見直し後も成果指標が同様のものについて、当初計画の実績値（H17）よりも、今回の実績値（H22）が下回っているものについて、原因と対策についての記載が必要ではないか。	【不採用】	総合計画本文の見直しに際しては、成果指標の達成度を踏まえたうえで、将来のまちづくりの方向性や目標、政策課題などを整理しているところであり、個別の成果指標に関する具体的な検証は、本市の行政評価（施策・事業）の取組みにおいてその対応を図っているところです。
	4	成果指標には「施策の内容」の具体的成果がどのようになっているのかを明らかにすることが必要であり、それを後期の戦略計画への発展段階に如何に結びつけるかの提案を出さなければならない。	【不採用】	個々の「施策の内容」の全ての成果を表す指標を設定することは困難なことから、本計画では、市民にわかりやすい形で施策がめざしている全体的な成果を客観的に推し測ることのできる成果指標の設定を心がけています。
	5	改定前と改定後で、「%」から「人数」に変更になっている項目があり、改定前との比較が困難となっている箇所がある。	【不採用】	今回の見直しにより、施策の成果を表す指標として、担当部局の意見を踏まえて、より適切なものを新たに設定したのもあることから、結果として改定前との単純比較ができない指標も存在しています。
	6	成果指標目標値を100人単位などの切りの良い数値に丸めていないことや、小数点表示を用いている理由は。	【一部採用】	今回の見直しでは、これまでの行政評価委員会などの指摘を踏まえ、前期5カ年の実績をもとにできるだけ具体的な数値設定を心掛けたことによるものですが、ご意見を踏まえ、端数処理が適当なものについては見直しを行います。
	【テーマ1】 安全・安心・快適なまち (5) 上・下水道の整備	7	成果指標「個別排水処理施設整備戸数」について、目標値が減少していることについて注釈が必要ではないか。	【採用】

(6) 住宅・住環境の整備	8	現状と課題「ストック総合計画」など、「ストック」の意味を付記した方が内容が理解しやすい。	【採用】	ここで用いている「ストック」は、現在市が保有している公営住宅（戸数）を指しているものですが、その内容が明確になるよう本文を修正いたします。 修正前：再生基本計画やストック総合活用計画を策定 修正後：公営住宅ストック総合活用計画を策定
【テーマ2】 健康でしあわせに暮らすまち (3) 子育て支援の充実	9	成果指標「ファミリーサポートセンター会員」の定義を示すべき。	【採用】	ご意見により注釈を追記いたします。 追記：（ファミリーサポートセンターの説明）地域において育児等の援助を受けたい人で行いたい人が会員となって、子育て等について助け合う会員組織
	10	成果指標「認可保育所入所待機児童数」の実績値（H22）や目標値（H28）が0（ゼロ）となっていることについてコメントが必要ではないか。	【その他】	施策推進の成果により、国の定義に基づく待機児童の年度平均値がH22実績で0（ゼロ）となっており、その状態を持続することを本指標の目標値としているものです。
(4) 障がい者福祉の充実	11	成果指標「相談窓口の箇所数」の目標値は。	【その他】	今後、今年度見直し中の「石狩市障がい福祉計画」に基づき設定を行う予定となっています。
【テーマ4】 豊かな自然を守り育て活かすまち (2) 公園・緑地・水辺の整備	12	協働の指針「公園に親しみ活用するとともに…」は「公園に親しみを感じ、活用するとともに、…」との表記が適切ではないか。	【不採用】	公園に対する親近感を抱くだけでなく、公園で遊び・憩うなどのイメージを表現するため、原文どおりといたします。
(3) 資源循環型社会の実現	13	施策の内容「②資源循環型ごみ処理体制の確立」中、「ごみの中にいまだ数多く含まれている…」の表記は何をどうしたいのか文意が不十分であるので明確にした方がよい。	【不採用】	本来リサイクルが可能である「プラスチック製品」や「生ごみ」、「紙ごみ」の多くがごみとして排出されていることから、そのリサイクル化の推進について表記しているものです。
【テーマ5】 心豊かに学びいきいきと活動するまち (1) 生涯学習の推進	14	成果指標「石狩市の人口に占める利用登録者の割合」は、どこの施設、どのような会場を対象とする指標でしょうか。	【採用】	この成果指標は、石狩市民図書館の利用登録者数に関する指標であり、説明が不足していますので、指標の名称を修正します。 修正前：石狩市の人口に占める利用登録者の割合 修正後：石狩市の人口に占める市民図書館利用登録者の割合
(2) 学校教育の充実	15	施策の内容「学校教育におけるICT…」について、日本語表記ではいけないのでしょうか。	【採用】	ご意見により注釈を付記します。 修正前：学校教育におけるICTの利活用を推進 修正後：学校教育におけるICT（情報通信技術）の利活用を推進
(4) 芸術・文化の振興	16	成果指標「市民文化祭に参加した個人・団体件数」の単位は「件数」では。	【不採用】	単位は「件」で良いと考えます。

(5) スポーツ・レクリエーションの振興	17	<p>施策の内容「総合的なスポーツセンターの確保に向けての検討を行います。」という部分については、総合体育館の早期建設に向けた具体的な記述をすべきである。</p> <p>(主な理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成9年10月の「スポーツ健康都市宣言」の実現を図るため。 ・平成22年に市内スポーツ団体が中心となり請願活動が行われ、市議会においても趣旨採択されていることから。 ・全道35市中、総合体育館のない市は石狩市のみであることから。 ・既存施設（B&G海洋センターや各コミセン等）は手狭であり、大会をはじめ大きなスポーツイベントの開催に支障を来していることから。 <p>※その他、総合体育館の必要性等に関するご意見（別紙）</p>	【一部採用】	<p>今回の総合計画後期見直しに際しては、喫緊の課題である防災機能の強化をはじめ、既存施設の維持管理コストの低減に向けた長寿命化対策などに重点を置き、優先的課題を整理したところです。</p> <p>また、市議会による趣旨採択では、総合計画及び長期財政計画との整合性を十分に考慮することとの決議が附帯されており、</p> <p>総合体育館の建設には、多額の初期投資を必要とするとともに、その後の維持管理費用など、将来的に大きな財政負担を伴うものですが、市民をはじめ多くのニーズを踏まえ、今後、総合体育館の確保に向けて、市民とともにその可能性を検討することとします。</p>
	18	<p>基本事業「ニュースポーツ」の意味が不明である。分かりやすい表現を。</p>	【採用】	<p>ご意見により注釈を付記します。</p> <p>追記：（ニュースポーツの説明）競技性を重視せず誰でも手軽に参加できることを目的とした新しいスポーツで、本市ではスポンジテニスやカローリングなどが広まっています。</p>
(6) 国内・国際交流の推進	19	<p>成果指標「石狩国際交流協会会員数」の単位は「会員数」では。</p>	【不採用】	<p>単位は「会員」で良いと考えます。</p>
【原則1】 健全な行財政運営 (3) 広域行政の適切な活用	20	<p>成果指標「広域連携事業数」の単位は「件数」もしくは「数」では。</p>	【不採用】	<p>単位は「件」で良いと考えます。</p>
【原則2】 一人ひとりが主人公 (2) 情報公開と情報共有の推進	21	<p>施策の内容「③情報の適正管理」が追加されたことは評価できるが、もう一步踏み込んで、文書館の設立に言及して欲しい。</p>	【不採用】	<p>今回の見直しでは、歴史的価値など重要性の高い公文書等がまちの共有財産であることを再認識し、その適切な管理・保存を行うことを優先課題として掲げています。</p> <p>なお、これらの文書を収蔵する文書館、あるいは文書館的機能の必要性は認識しておりますが、限られた財源の中で難しい状況です。</p>
【原則3】 地域の輝きを大切に (2) コミュニティ活動の維持・強化	22	<p>「コミュニティ」を「地域社会」などの日本語表記にしてはどうか。</p>	【不採用】	<p>「地域社会」とは、地域を基盤に地縁によって既に存在するもの、一方「コミュニティ」は、地域社会という生活の場などにおいて、市民が自主性、主体性を自覚し、様々な活動を通じて意識的に形成されていくものという考え方があります。このことから、本施策においては、あえて「コミュニティ」という表現を用いているものです。</p>

2. 主要事業計画の後期見直しの概要に関する意見

意見の箇所等		意見等の要旨	検討結果	検討内容
(2) 施設長寿命化・計画更新の視点	1	本市では、都市化が急速に進んだため、各種公共施設の老朽化が集中して起きる可能性がある。改修や更新は、このような可能性を考慮して計画をしていく必要があるのではないかと記載にも、こうした観点が必要ではないか。	【記載済】	ご指摘の背景を踏まえ、今回の見直しで後期計画期間における主要事業計画の優先対応課題のひとつとして「施設長寿命化・計画更新の視点」を位置付け、主要事業の整理を行っているものです。
(4) PPP・PFI等の導入に向けた取り組み	2	「昨年6月の「新成長戦略」以降」という記載があるが、PPP・PFI等の活用はそれ以前から行われており、記載は不要と考える。	【不採用】	国は、昨年の新成長戦略において、全国のPFI事業規模を2020年までの11年間で2倍以上に拡大することを決定し、現在、PFI法改正に引き続き関係規定の整備を進めているところであり、これらの状況を踏まえ、本文の記載を行っているものです。
(5) 既存ストックの有効活用	3	「全庁的なニーズ」という記載があるが、求められているのは市役所内での最適活用ではなく、地域内での最適活用ではないか。	【採用】	ご指摘のとおり、既存ストックの活用は市全体のまちづくりにおいて有効活用を検討するものですので、次のとおり本文を修正いたします。 修正前：全庁的なニーズを調整… 修正後：全市的なニーズを把握・検討…

(別紙) 総合体育館の必要性等に関するご意見

(必要性について)

- ・総合体育館はスポーツ愛好者だけでなく、これからスポーツに親しもうとする市民にとっても大変有意義な施設である。
- ・既存施設（B&G海洋センター、各コミセン）は手狭なため、他市町村愛好者との交流大会を開催したくても、大会の運営上支障をきたすためできない。
- ・他市町村を招いた大きな大会や市民大会等の会場探しに苦勞する。
- ・全道又は全国大会を開催する施設を有しない市は稀であり、健康とスポーツを振興する市の喫緊の課題である。
- ・大会を開催したくても場所がなく、北・南コミセン、海洋センターなどに限られているうえ、市の大会が優先する状況で不便である。
- ・市民の社会体育事業や指導者育成、ニュースポーツの推進、市のPR等に支障がある。
- ・総合体育館ができれば大きな大会が可能になり、石狩をもっと知ってもらえることができる。
- ・B&G海洋センターでは施設面で不備、不十分である。
- ・幼児から高齢者まで一カ所で健康づくりができる場として必要である。
- ・冬場、体育館を利用するために遠くまで行くことは危険なので、市内に必要である。
- ・スポーツ愛好者の競技力向上や市民の健康増進のため必要である。
- ・市民のスポーツや健康を推進しているにもかかわらず、総合体育館がないのは納得できない。
- ・身近に屋内球技に接する機会や施設（総合体育館）がないことから、各小中学校でも運動系の部に入っている子供が少なく、塾通いや帰宅部の子が多くなっていく。
- ・B&Gでの練習や試合はとても寒く、子供達がかわいそうである。
- ・今の子供達にはもっと運動できる環境が必要である。
- ・少年団から一般まで積極的にスポーツ活動に取り組んでいくためには、活動するためのスポーツ施設の整備が不可欠である。
- ・人口減少を緩和し、中高年を含め増加へ転じさせる施策の一つとして無くてはならない重要な課題である。
- ・スポーツを推進し、活力ある健康石狩市の実現のため必要である。
- ・常に生活の中にスポーツがあり、子供達の心身育成や健康作りのため、身近に充実したスポーツ施設はとても有意義である。
- ・快適な街に生活する住民が健全な生活のよりどころとして大切な要素である。
- ・健康の増進や病人を減らすことに役立つ。
- ・気軽に自分に合ったスポーツやレクリエーションを選択し、人との交流を重ねていくことができる。
- ・総合体育館では日により色々なスポーツを見学でき、一人ひとりが自分に合ったスポーツを見出す機会が多くなる。
- ・スポーツ健康都市宣言をしても、十分な施設がなければ市民皆スポーツの実現は難しい。

(機能や設備等について)

- ・畳の常設された武道場
- ・観覧席
- ・軽食又は食事ができる場所
- ・広い駐車場スペース
- ・冬期間の野球やサッカーができる施設
- ・育児等に対応した設備
- ・総合体育館と文化会館の両方の機能を持った多目的施設
- ・雨天時のランニングが可能な施設
- ・談話室
- ・交通機関の良い場所への建設
- ・気軽に取組めるスポーツ講座の実施

(その他)

- ・基金を造るなどして総合体育館の建設計画に取り組んで欲しい。